

「神の釜と久丸さま」

山田もと著

田原町六連に、神の釜というところがあります。昔は、山また山でしたが、今はひろびろとした畑になり、夏はスイカやメロン、冬はキャベツ、白菜など、いろいろな野菜が作られています。

この畑の中をくぎって、みどりの木々におおわれた大きな沢が一つ、むかしは川だったかもしれません。

この沢の西がわ、小高いところに小さな石のお社がひっそりと、小さな石のさきにかまれてあります。後ろは沢、前も構も畑です。神の釜です。

むかし、むか〜し、久丸さまという、とおとい身分の方が、六連の百々の浜へ流れつきましたと。大昔は、らい病など人にうつる病気になる人を、箱舟にのせて海に流したそうです。久丸さまこの病気がたつらしく、顔も手足も、みにくくなっておいでたので、人に見られることをきらい、山の中へお入りになって、ひっそりとくらしておいでしたとか。

村の人は子どもたちにまで、

「見い〜いくなよ。」

「神さまが、にたきをおせりるだ、見ては、もつたないぞよ。」などといつて、山へいかせませんでしたとか……。

神さまが、にたきをなされたところということで、このあたりつたいを神の釜というようになりました。

久丸さまは、のちに神戸のうるし田にうつられ、今はそこに久丸神社がたっています。

久丸神社のお祭りを、寝祭りといします。

おねぎ様が、百々の浜まで行ってみそぎをなされ、神の釜でご神事をなしてから、お宮へお帰りになるのですが、どんなことをなされるのか、だれにもわかりません。

【著者紹介】◎1920年 神戸村大草志田生まれ
◎1939年〜47年 野田尋常小学校へ勤務
◎1957年 名古屋童話作家協会入会
◎1992年 田原町可政功労者表彰
◎2004年 逝去

山田さんは、田原中部小学校のPTA機関誌「家庭と学校」へ1964年から41年間にわたって156もの作品を寄せ、田原に伝わる民話や伝説、田原に縁のある人物の伝記はもちろん、地域の子どもの暮らしぶりを伝え、多くの皆さんに心豊かな安らぎを与えてくださいました。「表浜むかし話」では、山田さんのご逝去後も、その作品を紹介させていただいております。

ご神体を一時神の釜へおうつしするのだという人もいますが、村の人でもりません。

この時、おねぎ様にいき会うと熱病になるとかいつて、村中雨戸をしめて寝ているのです。ずっと前のころは、神戸の学校はお休みになって、子どもたちは早くに家へ帰りました。

また、ほかのいいつたえでは、久丸さまは、南北朝のころいさをのがれて、この地にこられた王子さまだったともいわれています。

豊島の前田には、久丸さまが上陸された船戸とか、物見塚などという丘もあるそうです。



表浜風土記 「風紋」(ふうもん)*

むかし、海はぼくのものだった。崩落した崖を滑り台にして転げ落ちていくのは、快感だった。風で堆積した砂の斜面は、絶好のサンドスキー場になり、熱くなった砂浜を踊るような足どりで駆け抜け、そこを掘ればカニが逃げ惑う。

砂浜は、さまざまな表情を見せた。嵐の翌日は胸が躍った。波打ち際一面に貝が寄せられ、トコ箱に何杯も拾った。タコを拾ったことも。時には川になり、またあるときは池となり、そこには熱帯魚も……。座礁した鉄舟は絶好の釣りの穴場だった。

砂浜には、ハマヒルガオが群生し、コウボウムギやハマゴボウ、ハマボッスの花が海岸を飾っていたが、今はもう……。それから…海はみんなのものになった。

南神戸町谷ノ口区 彦坂 多一郎

▲思い出の場所は「今」

▲ハマヒルガオ

▲コウボウムギ

▲ハマゴボウ

▲ハマボッス

※資料：花の写真は「たはらの自然めぐり」 渥美半島 花暦より引用

*風紋とは、風によって砂地の表面に出来る模様。

平成22年度事業計画

■主要事業

第13回表浜自然ふれあいフェスティバル

日時 平成22年11月13日(土) 午前9時～午後1時
※悪天候の場合は12月11日(土)に延期

場所 久美原～大草の表浜一帯
※親睦会場は神戸東ヶ谷海岸

内容 海岸清掃、地引網(予定)、ビーチフラッグス、特産鍋の無料提供ほか

目的 表浜海岸の魅力、海岸浸食などの現状を広くPRすることで海岸整備の促進を図る

■主な推進事業

農村総合整備事業：田原市産業振興部農政課
[大草・高松地区、東部地区]

農地・水・環境保全向上対策：田原市産業振興部農政課
[東部・六連・神戸・大草各校区]

海岸治山事業：愛知県東三河農林水産事務所

海岸保全対策：愛知県東三河建設事務所

森林公園計画[谷ノ口地区]：田原市都市建設部街づくり推進課

★表浜情報誌「潮騒」や「協議会活動」に対するご意見・ご要望・ご感想をお寄せください。
【発行】 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会 (事務局：田原市役所政策推進課) 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 TEL0531-23-3507

この冊子は再生紙を使用しています。

第12号

2010.10.15

今思う「昔と今」

「昔はよかった」「昔はこうだった」などと、よく耳にしたりします。こんな会話も、「今があるからこそ」ではないでしょうか。

時に、今も荒々しい顔みせる海や自然も、人は、昔から感動や癒しなど、たくさんの恵みをうけて暮らしています。

いつの時代も、受けついできたこの雄大な海、そして大自然の恵みを、後の世代に残そうと、考えていたのではないのでしょうか。これから先、わたし達にもできる「今」を大切に考えてみる必要があるかもしれません。

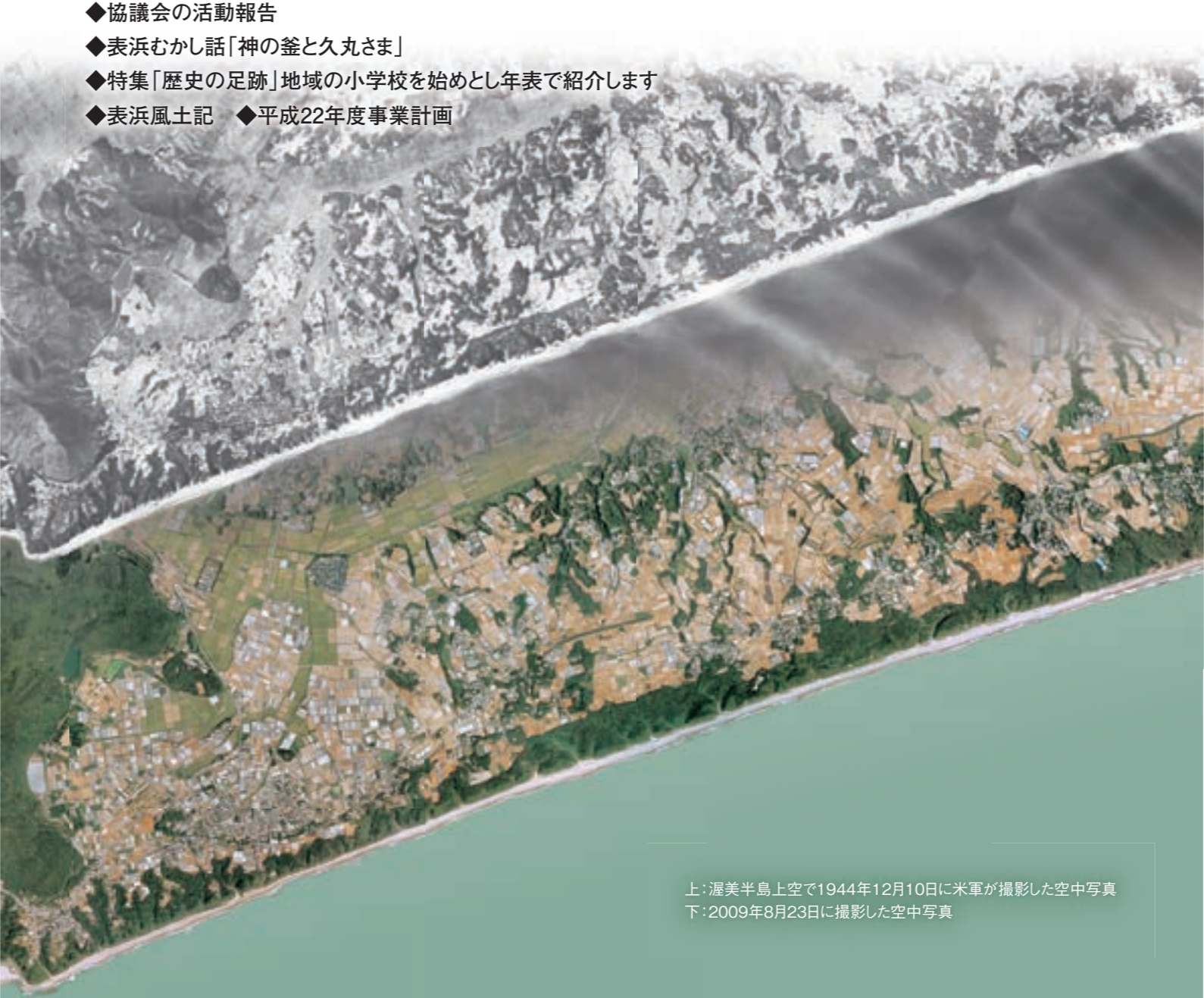
CONTENTS

- ◆協議会の活動報告
- ◆表浜むかし話「神の釜と久丸さま」
- ◆特集「歴史の足跡」地域の小学校を始めとし年表で紹介！
- ◆表浜風土記 ◆平成22年度事業計画

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会

表浜地域づくり情報誌

しおさい



上：渥美半島上空で1944年12月10日に米軍が撮影した空中写真
下：2009年8月23日に撮影した空中写真

「みんなで考え・行動する地域づくり」

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要

◆会長あいさつ

本協議会も発足以来14年を経過し、神戸・大草・六連・東部の4校区が一丸となり、少しずつではありますが、自立した地域活動を歩み進めてまいりました。

平成17年に策定した谷ノ口地区整備基本計画につきましては、市と協働で、集落環境整備が進められていると同時に、森林レクリエーション公園(仮称)の整備も着手しております。協議会として、また、東部太平洋岸地域全体としても、その実現が大いに期待されているところであります。

本協議会は、海岸環境の整備推進を柱に、魅力ある表浜地域の実現を図っていくことが必要であると考えています。

今後も、4校区のつながりをより深くするとともに、渥美半島が一つになり、同じ海岸環境を持つ地域との連携も視野に入れたら、行政と一体となって取り組んでまいりたいと思っています。

最後に、太平洋岸の快適で住みよい生活環境整備が実現されるよう活動していきたいと願っております。

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会
会長 松井 克志

◆協議会組織【平成22年10月現在・順不同】

役員	会長	松井克志(神戸校区総代)
	副会長	鈴木克尚(東部校区総代)、井上常雄(六連校区総代)、村瀬精彦(大草校区総代)
委員	市議会議員	赤尾昌昭、彦坂雄三
	漁業関係者	富田賢(愛知外海漁業協同組合理事)、松井一光(愛知外海漁業協同組合理事)
	市農業委員	細井儀登、三浦重芳、富田政彦、清水一美
	市役所	林 勇夫(副市長)、川口 侃(教育長)、菟田敏則(産業振興部長)、讃岐俊宣(都市建設部長)
顧問	鈴木克幸(田原市長)、鈴木愿(愛知県議会議員)、伊藤欣夫(愛知みなみ農業協同組合代表理事組合長)	
事務局	田原市役所政策推進部(政策推進課)	

●表浜自然ふれあいガーデン 実現に向けての動き

ハード事業

- ◆海岸整備(県事業)
◇海岸保全事業(傾斜護岸)：百々海岸(H19)、離岸堤調査・工事(豊橋田原海岸) ◇海岸治山事業：7箇所要望中
- ◆拠点地区の整備促進(市事業)
◇公衆便所整備事業：谷ノ口海岸(H9)・大草海岸(H10)・百々海岸(H11)・東ヶ谷海岸(H13)
◇海岸駐車場事業：大草海岸(H11)・百々海岸(H12)
◇道路整備事業：南谷ノ口1号線改良(H15)・寺前上り口線拡張(H16～H18)・高畑谷ノ口線改良(H17)・谷ノ口海岸線拡張(H17～)・国道42号公民館前交差点改良(H18～)
◇公園整備事業：(仮称)谷ノ口森林レクリエーション公園整備(H18～)

ソフト事業

- ◆表浜自然ふれあいフェスティバル(協議会事業)
◇メイン海岸：H10谷ノ口海岸・H11大草海岸・H12百々海岸・H13東ヶ谷海岸・H14大草海岸
H15百々海岸・H16分散開催・H17大草海岸・H18百々海岸・H19東ヶ谷海岸・H20大草海岸・H21百々海岸
- ◆表浜のレクリエーション
◇健康ウォーキング大会(市教育委員会)：H10東ヶ谷海岸・H11大草海岸・H14谷ノ口海岸・H15百々海岸
◇ふれあいウォーキング大会(六連青少年健全育成)：H13六連海岸

●農地エリアの整備 実現に向けての動き

ハード事業

- ◆農村・農地の整備(市事業)
◇農村総合整備：神戸地区(H12～H16)・大草、高松地区(H18～)・東部地区(H19～)
◇農用地基盤整備事業：谷熊新田排水対策(H20～) ◇農地・水・環境保全向上対策(H19～)

ソフト事業

- ◆農地基盤に関する実態調査(市事業)
◇農地基盤再整備に関する調査：H11表浜全域

多額の予算を必要とする海岸保全事業の継続的な実施には、国土保全・防災面に加え、表浜海岸の持つ多面的価値の創造を行い、投資効果の向上を図る必要があります。

道路・排水・農地区画・ため池などの農業基盤に加え、集落環境を含め総合的な整備促進を図ります。

